

2026(令和8)年度 第1回伊賀地区福祉有償運送等運営協議会 会議録

日 時：2026(令和8)年6月15日(月) 14:00～15:35

場 所：名張市防災センター2階 防災研修室1、2

会場出席：中平会長、芦木副会長、森地委員、前田委員、北森委員、小倉委員、
堀出委員(代理：伊藤氏)、尾上委員、田代委員、浅利委員、
高羅委員、内田委員

欠 席：喜多委員、福嶋委員、坂元委員

傍 聴 者：0人

事 務 局：伊賀市 介護高齢福祉課 濱田係長、上田主査
名張市 障害福祉室 奥本室長、及川主幹、市川室員

1. あいさつ

【事務局】

本日は、更新登録、運送対価の変更に関する審議を予定している。委員の皆様には忌憚のない意見を賜るようお願いしたい。

【事務局】

本日の出席委員は12名、欠席委員は3名で、15名中12名の出席である。これは伊賀地区福祉有償運送等運営協議会設置要綱第8条第2項の規定「会議は、委員の過半数が出席しなければ開くことができない。」により、本会議が成立していることをご報告申し上げる。

会議を進めるにあたり、事務局から3点お願いをさせていただく。1点目、本協議会は、伊賀地区福祉有償運送等運営協議会設置要綱第8条第3項の規定に基づき公開の会議としており、傍聴者と報道関係者の入室を認めさせていただくが、個人情報を含む議事に関しては、伊賀地区福祉有償運送等運営協議会設置要綱第8条第3項但し書きの規定に該当するため、本会議は非公開とする。2点目、審議会等の会議の公開に関する要綱(第8条)の規定により会議録を作成するため、本会場にレコーダーを設置し、音声録音させていただく。3点目、円滑な会議運営及び会議録作成のため、発言の際は、挙手し、発言許可の後をお願いしたい。

2. 議事

(1) 令和7年度下半期運営状況報告について

【事務局説明】

「福祉有償運送運行状況一覧」により説明させていただく。これは令和8年3月末時点の各法人からの報告を集約し、1頁に会員数、運転者数、車両数、裏面の2頁に運賃、運行状況(延べ利用件数)等を記載している。

令和7年度上半期分と比較して、全体で会員数は487名減、運転手数は9名減、運

行状況（延べ利用件数）は、3, 405件減少し、ほとんどの事業所が減少し、増加は2事業所のみであった。

減の主な要因は、死亡や施設入所、入院により会員数が減少し、利用回数が減ったと事業所から聞いている。また、下半期に2事業所が廃止した事が大きな原因と思われる。

その他の項目は記載のとおりである。

【会長】

数年前は新規事業所があり、どこまで事業所を増やすか議論をしていたが、今は利用者が減り撤退する事業所が出てきた。現在、利用したいのに利用出来ない方はいないのか。前回の協議会では、廃止する事業所の利用者は他事業所に移るといった意見もあったが、現状そのようには見受けられない。事務局は何か把握しているか。

【事務局／名張市】

名張市の障害福祉室は、特に聞いていない。

【会長】

他事業所に移っていないのであれば、別事業の事業者が移送している事になる。それは福祉有償運送のシステムとしてあまり良くない。やはり複数の方が自由に利用できるシステムにしないと、結果的に別事業者が移送させる事になり、本来の福祉有償運送の趣旨と少し違う。利用の幅を広げるような策を、市役所等が促していかないといけない。

【事務局】

NPO法人等の事業所は、増やしてほしいという要望等を聞いていないか。

【委員】

当事業所は伊賀市にある。当事業所も含めて利用者が減っており新規登録もない。伊賀市は介護タクシー事業者が増えており、単発利用はそちらを利用していると思われる。また、病院で家族が送迎しているのを見かける。物価が高騰し、福祉有償運送の運賃も上がっている。利用者は経済的な事もあり厳しい。特に透析患者の負担は大きく、要介護から要支援になって乗降介助が使えなくなり、とても払えないという事で、家族が仕事を休んで送迎をする方もいる。

【委員】

当事業所は名張市にある。当事業所も施設入所や亡くなるといった自然減で、増えてはいない。

全体のマイナスが大きいのは、廃止したほっとライフサービス桔梗と、ケアセンターなの花の数字がそのまま反映されているからではないか。利用者の行き先が明確であれば、これだけのマイナスは出なかった。ほっとライフサービス桔梗の利用者について、名張市は何か把握しているか。利用者から相談はないのか。追跡調査はしていないのか。

【事務局】

利用者から相談は聞いておらず、追跡調査はやっていない。

【委員】

不明という事か。かなりの人数なので、困っている方はいないのかと思った。

【委員】

ケアセンターなの花は、事業所廃止時に後継者を作り、その方が介護タクシーをされているので、概ねそちらへ行かれたと思う。

【会長】

移動困難者が分からないのはまずいと思う。この場に上がらない方々もいると思うが、移動困難者はどの位いて、どう困っているか把握しておく必要があると思うので、何か調査等で出来るのであれば、把握しておいた方が良いのではないかな。

交通分野でも5年位前から「福祉との連携」と言われている。介護タクシーでカバーするのか、福祉有償運送でカバーするのかを計画立てていかなければいけないので、是非とも把握してもらいたい。

【委員】

介護タクシーが、単なる高齢者を移送する事例がある。介護タクシーに利用者が取られているのではないかな。市役所からも良い事は良い、悪い事は悪いと可能な範囲で見張っていただきたい。

【会長】

事務局、何か把握している事はあるか。

【事務局／名張市】

福祉有償運送は利用要綱がある。要綱に沿った指摘はしていかなければいけない。

【事務局／伊賀市】

時々病院から、福祉有償運送を利用できないかといった問い合わせがある。福祉有償運送には要件がある事を伝え、介助が必要な方でなければタクシー等を利用するよう案内している。問い合わせ時にはその辺りも確認した上で案内しないといけないと思う。

【委員】

必ずしも市役所に問い合わせない。前段階で何かしてくれないと普通に運営をしている事業所が困るので「病院等に対して“このような対応は困る”といった歯止めの部分を考えてほしい」と言われていると私は解釈した。

【委員】

運輸支局です。介護タクシーの利用対象は、単なる高齢者ではなく、要介護者等で一人では難しい方なので、単なる高齢であればタクシーを利用するよう伝えてほしい。また実態調査を実施するようお願いする。

【会長】

法の下で適切な利用が決まっているので、対象事業者が分かったら指導をしていただくのは当然だが、その前に各事業者に対して「こういった移送はダメだ」という連絡はできると思うので、市役所から指導をしていただければと思う。

～ 個人情報を含む議事のため非公開 ～

(2) 自家用有償旅客運送の更新登録申請について

(3) 旅客から収受する対価の変更

【会長】

以上を以って、令和8年度第1回伊賀地区福祉有償運送等運営協議会は終了とさせていただきます。